

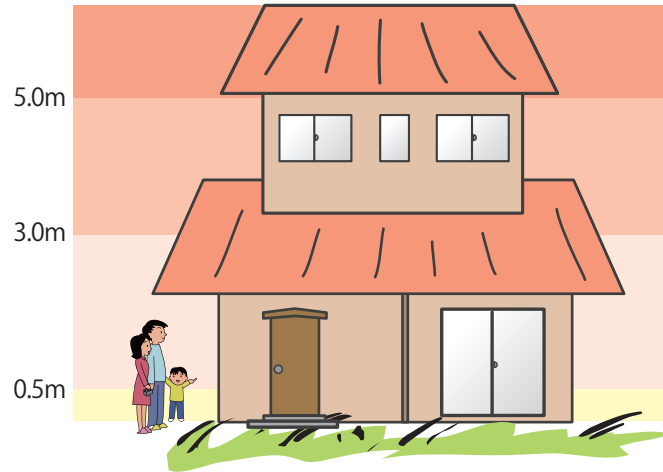
大雨(洪水・土砂災害)について

大雨などにより、川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが起因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりえる災害に対応しましょう。

川の氾濫

- 21～29ページに表示している奥入瀬川及び明神川の浸水想定は、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したハザード情報です。浸水想定区域内にいる方は、20ページの警戒レベルに応じた避難行動をとりましょう。
- 浸水ランクの目安 1,000年に一度の規模の大雨を想定(奥入瀬川流域の12時間総雨量303mm)(明神川流域の24時間総雨量529mm)

5.0m 以上の区域	2階の屋根まで浸水する程度
3.0～5.0m 未満の区域	2階が浸水する程度
0.5～3.0m 未満の区域	1階が浸水する程度
0.5m 未満の区域	大人の膝までつかる程度



土砂災害

土砂災害の前ぶれ現象

・雨に注意しましょう

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。

・前ぶれ現象に注意しましょう

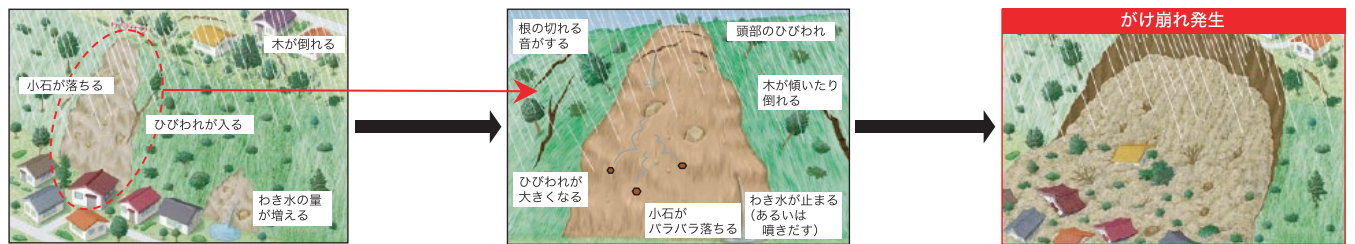
土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況に気付いた場合には、ただちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、役場などの関係機関に連絡してください。

日ごろから自分の住んでいる周りや避難場所までの経路に「土砂災害(特別)警戒区域」があるか、21～29ページのハザード情報で確認しましょう。

「土砂災害(特別)警戒区域」の中、または付近にいる方は、20ページの警戒レベルに応じた避難行動をとりましょう。

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



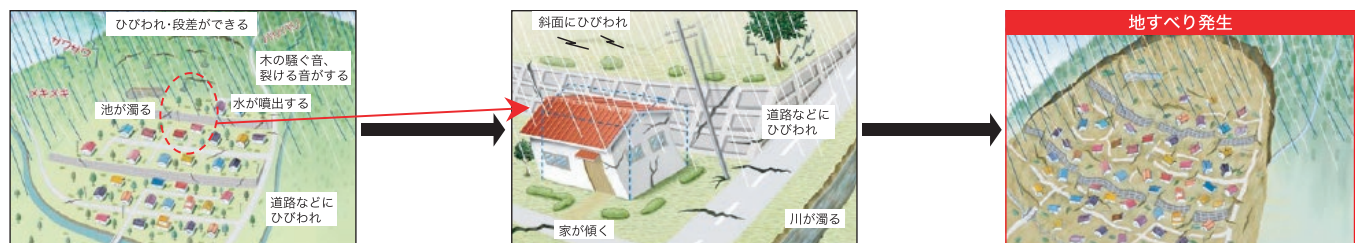
土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や田畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいので、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。